

住宅用火災警報器の
電池取り外しかた



天井若しくは壁から本体を取り外します。

一般的な天井取付タイプは左方向（時計と反対回り）に回しますと、ツメが外れて取り外せます。

- ※ **製造メーカーにより取り外し方法が違う
場合がございますので、詳しくは取扱説明書
若しくは製造メーカーに直接お問い合わせ
ください。**

本体



天井側台座



ビス穴

本体を取り外した状況です。内部にある電池を取り外します。

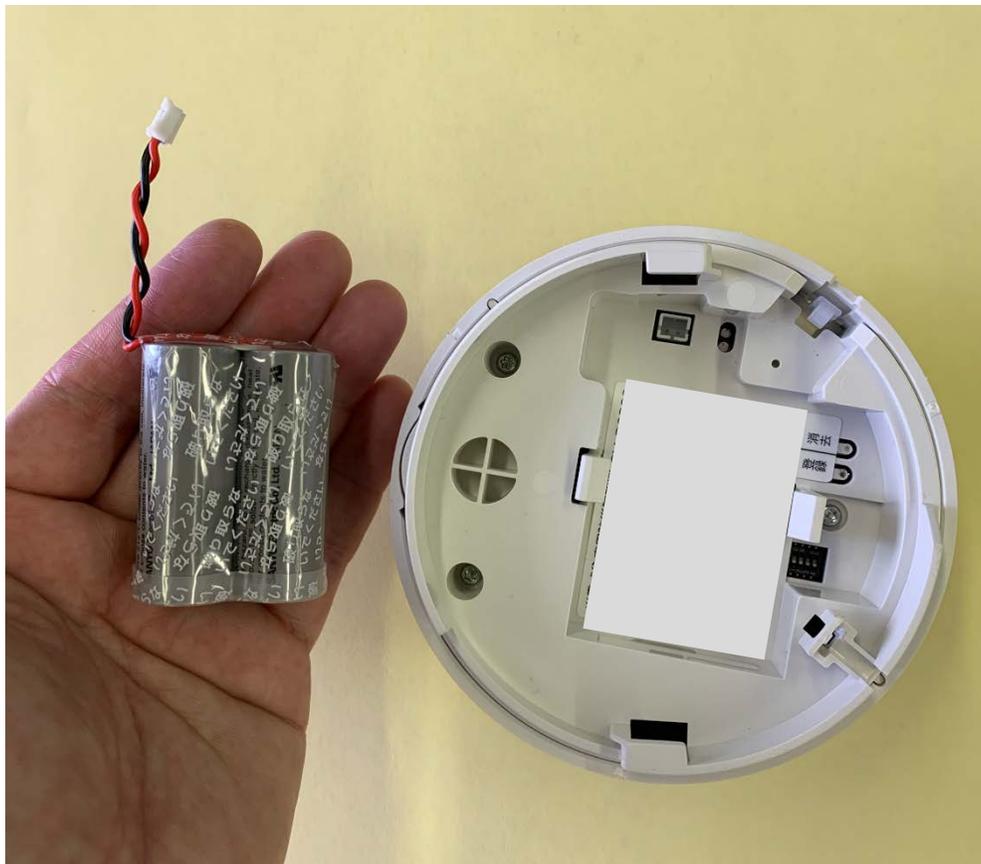
天井側台座は通常、ビス留めされておりますのでドライバー等を使用し、天井から取り外してください。

不明な場合は取扱説明書若しくは製造メーカーに直接お問い合わせください。

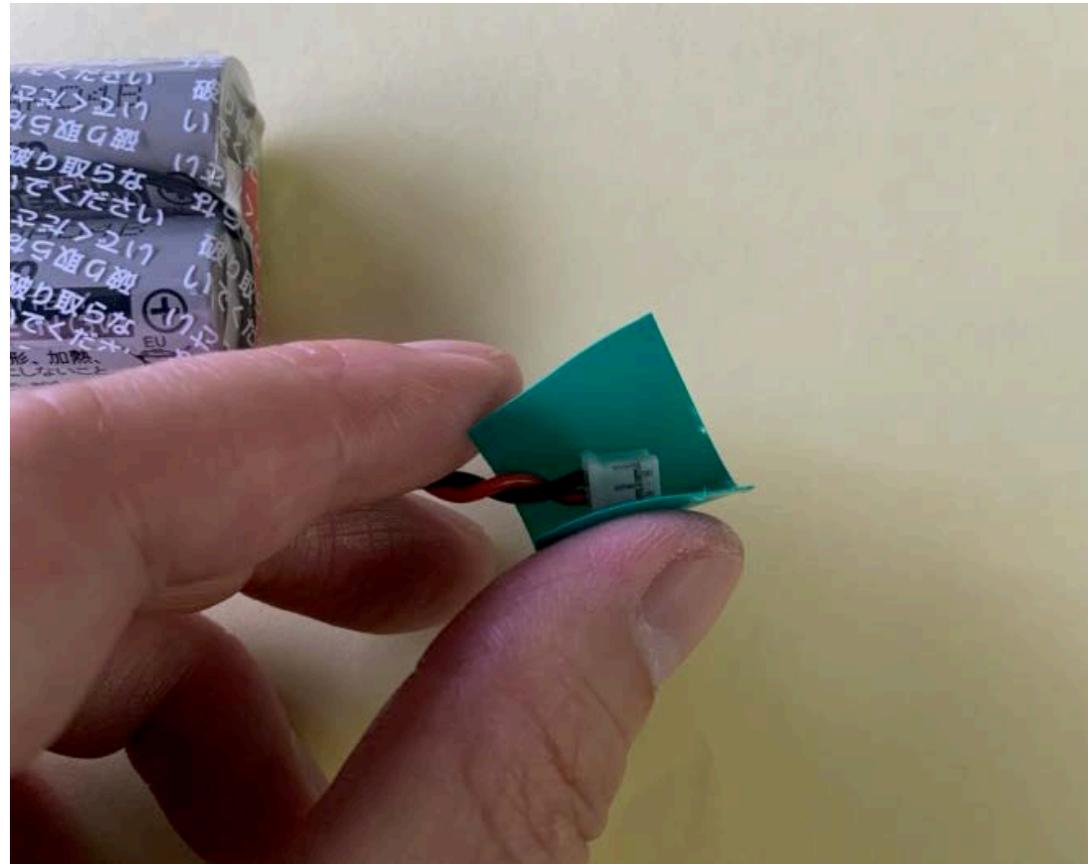
電池は本体とコネクタで接続されていますので、コネクタを取り外します。



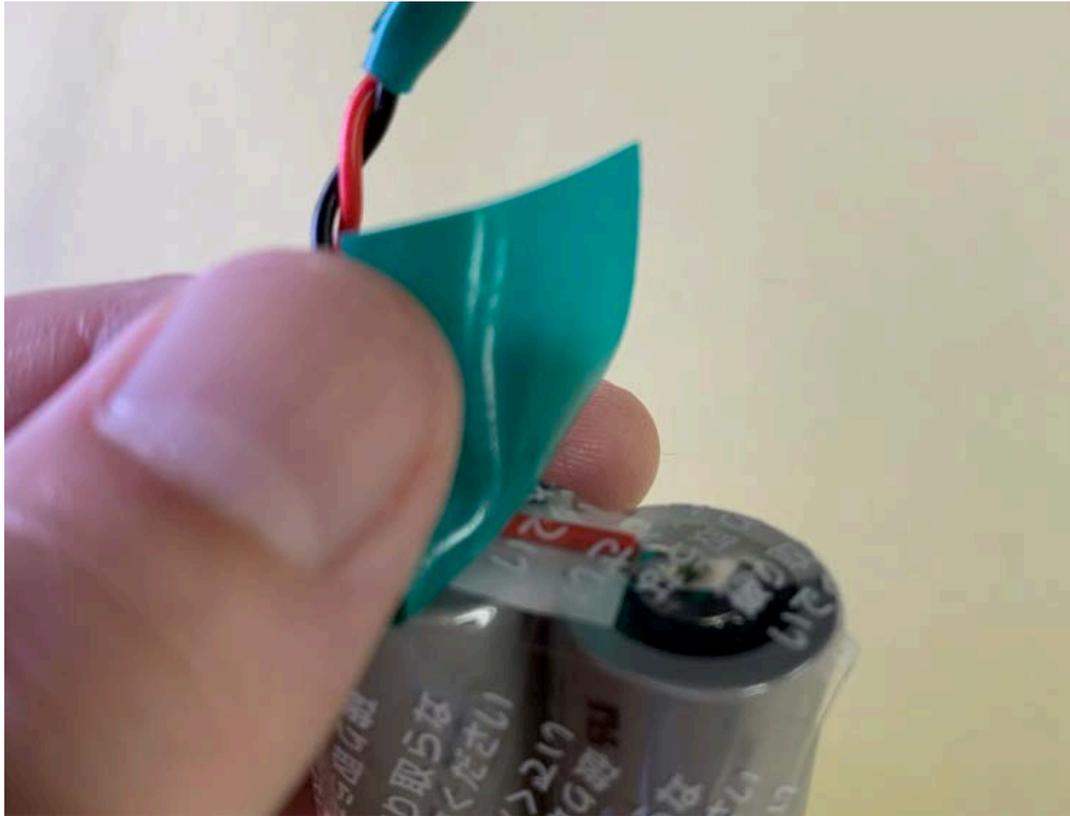
コネクタを外しましたら
電池を取り外すことができます。



電池を外しましたら絶縁処理をします。
コネクタ部分が隠れるようにテープを
巻いていきます。



電池の両端部にもテープを巻きます。電池全体にフィルムで覆われていますが、経年による劣化や廃棄時に破れる場合がありますので、その上から処理をしておきます。



反対側の両端部にもテープを巻き絶縁処理をします。



このように電池の接点となる部分をテープで覆えば絶縁処理の完成です。



市川市では本体、電池ともに燃やさないごみで処分となります。指定の袋に入れて処分してください。

